

講義コード	11C0128718	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	平 伊佐雄	開講期	通年
科目名	ゼミナールⅠ(平)					平 伊佐雄		通年	
履修前条件						備考			
授業の目的	ゼミナールⅠは、ヨーロッパ中・近世の歴史を経済の側面から分析することを目的としている。本年度は「大航海時代」期におけるヨーロッパ人の異世界との接触に注目して研究を行いたい。しかし、ゼミ初年度ということもあるので、最初は経済史の研究方法について学び、その後、当時の時代背景に関する通史を学びながら、同時にまた、当時の史料を解説、検討してゆくことにする。								
到達目標	大航海時代がもたらした人間の世界観の変化を論じることができるようになる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	事前2時間、事後2時間(120時間)の授業外学修を必要とする。								
授業計画	【第1回】 経済史の歴史と歴史学の歴史 【第2回】 経済史の歴史と経済学の歴史 【第3回】 チボッラの歴史研究と『経済史への招待』について 【第4回】 この回からチボッラ『経済史への招待』の検討に入る。経済史の研究方法 【第5回】 経済史と呼ばれる学問1 【第6回】 経済史と呼ばれる学問2 【第7回】 経済史と呼ばれる学問3 【第8回】 問題設定1 【第9回】 問題設定2 【第10回】 問題設定3 【第11回】 史料1 【第12回】 史料2 【第13回】 史料3 【第14回】 史料4 【第15回】 史料批判1 【第16回】 史料批判2 【第17回】 史料批判3 【第18回】 史料批判4 【第19回】 史料批判5 【第20回】 歴史の再現1 【第21回】 歴史の再現2 【第22回】 歴史の再現3 【第23回】 歴史の再現4 【第24回】 海外への航海の始まり 【第25回】 カナリア諸島の征服 【第26回】 北アフリカへの航海と征服 【第27回】 コロンブスによるアメリカ発見 【第28回】 アメリゴのアメリカ探検 【第29回】 コルテスによるメキシコ征服 【第30回】 ピサロによるインカ征服								
成績評価の方法	レポート、研究報告によって評価する								
フィードバックの内容	演習形式のため、フィードバックは所与である。								
教科書	『経済史への招待』カルロ・マリア・チボッラ(国文社)2001								
指定図書	『全航海の記録』コロンブス(岩波書店)2011、『アンソロジー新世界の挑戦3』オビエード(岩波書店)1994、『ヌエバ・エズパニャ報告書・ユカタン事物記』ソリタ、ランダ(岩波書店)1982、『メキシコ征服記1-3』ベルナルド・カステイリョ(岩波書店)1986、『ペルーおよびクスコ地方征服に関する真実の報告』ヘレス(岩波書店)1980、『ヨーロッパと大西洋』プーチエ(岩波書店)1984、『西アフリカ航海の記録』アズララ(岩波書店)1981								
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。また、WebClassのメッセージ機能でも受付けます(利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照)。								
その他									